



ボランティア

2009
September
vol.298

9

ボラセンスタッフ日記「ブログ」

『新聞屋さん、ありがとう』 August .6.2009

この「ブログ」は、当ボランティアセンターのスタッフが日々業務の中で感じるボランティア観、社会や地域でおきている出来事について、スタッフの視点で書き込む日記のような記事です。

我が家は夫婦共働きのため留守がちで、新聞屋さんには「5回目でやっとつかまりました。3か月分たまってます。口座引き落としにしませんか」などと言われます。確かに口座引き落としにすれば何か月分もまとめて払う必要もなくお互い楽でよいのですが、あえて手続きはとらないことにしています。なぜかという、毎回集金時に新聞屋のお兄さんが“よいもの”を持ってきてくれるからです。“よいもの”とは、例えばトイレットペーパーだったり、洗濯洗剤だったり。

今回の集金は契約期限切れで年度更新が必要な時でした。

「また1年よろしくをお願いします。」「う～ん、どうしようかなあ。」断る気はないけれど...

「園のプール入場券あります。」「ドームの招待券あります。」

おかげで先月はプロ野球と遊園地に子どもを連れて行くことができました。

昔は新聞屋さんに限らず酒屋さんや牛乳屋さんなどが御用聞きに来てくれました。そこで巷のうわさを流したり聞いたりして近所の情報を得ていました。「さん入院したんだって」「さんち、また子どもが産まれるみたい」、新聞屋さんや酒屋さんは地域の情報屋さんの役割を持っていたのです。

今はこのような話もなかなかできないご時世になりました。自然とご近所さんの口も固くなります。それ以前に隣近所同士の付き合いも希薄になり、御用聞き自体来なくなりました。地域コミュニティの活性化は社会福祉協議会の使命でもあります。自然発生的にコミュニティができていたひと昔前と違い、コミュニティをあえて作らなければならない世の中というのも少し寂しい気がします。

個人情報とコミュニティの問題はこれからますます難しい問題になっていくのでしょう。我々社会福祉協議会職員もこの問題を解決するべくさまざまな事業を展開していく必要があると実感しています。

ということもあって我が家では今後も口座引き落としにはせず、新聞屋さんには毎回足を運んでもらい、コミュニティ再生について考えていきたいと思っています。

(かたくら)



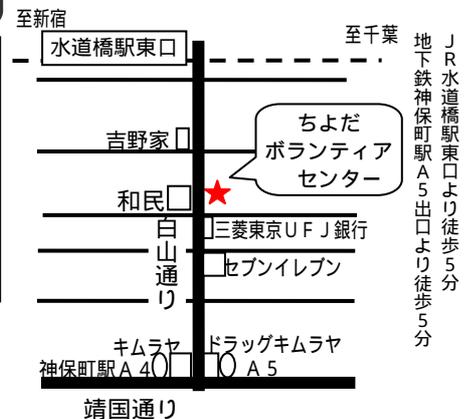
ちよだボランティアセンター新任職員のご紹介(8月1日付)

8月からボランティア係に勤務させていただくことになりました土橋和秀(どばしかずひで)と申します。

これまで個人的に、三十数年間ボランティアを続けて参りましたが、社会福祉協議会での仕事は初めてです。千代田区という東京の中心地域で、区民の皆さまと共に働けることは大きな喜びです。元気と笑顔を区民の皆さまにお届けできますよう一所懸命働きます。どうぞよろしくをお願いします。



ACCESS アクセス



発行 / 社会福祉法人千代田区社会福祉協議会
ちよだボランティアセンター

〒101-0065 千代田区西神田1-3-4 西神田庁舎4階

開室日・時間 月～土曜日(祝日を除く)9:00～19:00

TEL 03-5282-3716 FAX 03-5282-3718

E-mail volunteer@chiyoda-cosw.or.jp

URL http://www.chiyoda-vc.com

当センターのホームページは、(株)大塚商会様の社会貢献活動の一環としてご提供いただいております。



みんなでボランティアしようカニ!!